

## あつぎこどもの森クラブ 2022 年度水辺の生き物調査隊募集

(2022 年度新規隊員用)

2022. 3. 1. 自然 PJ 諏訪部 晶

水辺の生き物(水の中やその周辺の生き物)をつかまえて調べてみよう。

一生水の中で生活している魚や貝、幼虫・幼生の時だけ水の中で生活し成虫・幼体になると水の外に飛び出すものやサナギの時は水の外に出て、また水の中や水面に戻ってくるものなど水辺を利用する生き物はたくさんいます。

水の中の生き物をガサガサと水網で掬い取ってどんなものがあるか絵に描いたり写真に撮ったりして名前やどんな生活をしているのかを調べていきます。また、水辺を利用しているトンボなどの昆虫も調べていきたいと思います。要望があれば水草や湿地性の植物も対象にしたいと考えています。水辺の生き物の魅力を存分に伝え、楽しみながら自然の営みに接してもらいたいと願っています。

水辺での調査なので、小学生のお子さんは保護者同伴でお願いします(中学生以上は 1 人で参加可)…家族ぐるみで取り込みたいので。原則年間を通して参加できる人(7~8割以上の参加)を募集します。ただ新型コロナウイルス感染症の状況で中止にする場合は除きます。

湿地への負荷を考慮して隊員は**20組**とさせていただきます。

20 組を超えて参加を希望する方にはキャンセル待ち隊員として登録してもらいます。その場合も保険の関係上あつぎこどもの森クラブ利用会員(年会費 500 円)になってもらいます。

2017 年度の反省から年間を通して参加できる登録隊員だけで実施すると体調や家庭の都合などで参加できない場合、少ない人数で実施することになり、せっかく準備したのにもったいないと思われる時が多々ありました。そこで各回の参加申し込み締め切り日に 20 組の募集定員に欠員が出たら、キャンセル待ち隊員を補充して実施していきます。

なお、クラブ利用会員の保険はこどもの森公園敷地内のみ適用になりますので、第 6 回・第 8 回は公園外での活動となりますので、この回だけはレク保険を掛け、料金(1 人 50 円)を徴収させていただきます。

◎2022 年度の募集は 3 月 3 日から 3 月 21 日まで受け付けます。

先着順に登録し 20 組までは水辺の生き物調査隊に 21 組以降はキャンセル待ち隊員として登録します。申し込みの際は参加する保護者名、こどもは名前と読み仮名と学年・年齢、住所、連絡用のメールアドレス、緊急連絡用の携帯電話番号を明記してください。

**2022 年間計画**…実施日・予備日は他行事と調整し変更になる可能性があります

新型コロナウイルス感染防止のため以下のことを実施します。

・参加の申し込みをした時は添付した文書の左側のセルフチェックに記入し、参加当日は右側の

当日用のチェック表に記入し受付で提出する。当日の検温で37.5℃以上や体調不良があった場合は参加を遠慮してもらう。

- ・使用するウエーダー、水網は使いまわしを防ぐため個人で使用して、11月まで貸与とし家庭で管理してもらう。
- ・感染リスクを減らすため公共交通機関はなるべく使用せず、マイカーで参加する。
- ・3つのグループに分け、活動場所をローテーションすることにより他のグループと接触しないようにする。グループごとに安全管理要員を配置し家族と家族の間が2m以上になるように助言する。
- ・マスクは激しい活動以外は常着する。
- ・管理棟は使用せず、解説は前日の夜Zoomにより行い、家庭で視聴してもらう。

第1回「こどもの森公園と水生生物について」4月10日(日) 予備日16日(日)、Zoomによる解説9日(土)

Zoomによる解説9日(土)19:00~最大で、20:30 隊員の自己紹介(入隊した動機・やりたいことなど)、解説「あつぎこどもの森公園の成り立ちとこれから」「水生昆虫について」・班分け  
4月11日(日)9:20 管理前棟集合 ~受付・チェックカード提出・検温、利用会員の未登録の方は手続き 9:40~作業棟へ移動をしながら施設見学 10:00~採集準備(採集道具の配布・自分の大きさに合ったウエーダーを探し身支度)安全管理者の紹介 10:20~A 南側細流 B 北側細流 C 水田3・下湿地で採集 10:45~反時計回りにローテーション A 北側細流 B 水田3・下湿地 C 南側細流 11:10~A 水田3・下湿地 B 南側細流 C 北側細流 11:35~作業棟前で採集生物の説明 11:50~集合写真撮影 12:00~まとめと次回の予告・解散 12:05

○労作ボランティア4月16日(土) 13:00~15:00(自由参加)

水田下のヨシ原湿地の周りのあぜ道の木道づくり(ヨシ原での活動をやりやすくするため)

○労作ボランティア4月24日(日) 9:30~15:00(自由参加)

春のフェスタ水辺の生き物展に展示する生き物集め(午前玉川・午後こどもの森公園)

○労作ボランティア4月29日(金・祝)

春のフェスタ水辺の生き物展の解説、受付など

第2回「両生類~カエル・イモリについて」5月8日(日)予備日14日(土)、Zoomによる解説7日(土)

Zoomによる解説7日(土)19:00~19:40 出欠確認、「両生類~カエル・イモリについて・班分け」  
5月16日(日)9:20 作業棟集合・受付・検温・チェックカード提出 9:35~身支度・グループ分け安全管理者の紹介 9:50~A 溜池 B 南側細流セキショウ群生場所 C 水田3・下の湿地 10:20~

反時計回りにローテーション A 南側細流セキショウ群生場所 B 水田 3・下の湿地 C 溜池 10:50  
～A 水田 3・下の湿地 B 溜池 C 南側細流セキショウ群生場所 11:20～採集生物の説明 11:35～  
集合写真撮影 11:45～使用道具の片づけ 12:00～まとめ・次回の予告・解散 12:05

- ・トンボの羽化・産卵があれば観察・成熟したトンボがいれば採集説明、
- ・シュレーゲルアオガエルの卵塊があれば観察

○労作ボランティア 5月21日(土) 13:00～15:00 (自由参加)

ヨシ原湿地のビオトープ化・トンボの産卵場所づくり (ヨシの踏み倒しと水深のある小池掘り)  
※作業前に生き物調査をしてビオトープ化した後の来年の5月の生き物調査と比較します

第3回「ホタルについて」6月12日(日) 予備日18日(土) 、Zoomによる解説11日(土)

Zoomによる解説11日(土)19:00～19:40「ホタルについて」・観察の諸注意

6月12日(日)19:30 管理棟前集合受付・検温・チェックカード提出 19:40～ 観察上の注意安  
全管理者の紹介 19:45～～空中回廊・エノキの広場・溜池・水田をめぐるゲボタル・ハイケ  
ボタル・(クロマドボタル) を観察 20:40～管理棟前でまとめ・次回の予告・解散 20:50

○労作ボランティア 6月18日(土) 13:00～15:00 (自由参加)

ため池小(沈砂池)にたまった泥上げ作業

○労作ボランティア 6月26日(日) 9:30～12:00 (自由参加)

七沢遠足の下見・採集しやすいようにビオトープづくり

第4回「水生カメムシについて」7月10日(日)予備日16日(土)、Zoomによる解説9日(水)

Zoomによる解説7月9日(水)19:00～40 ログイン準備「水生カメムシについて」・班分け

7月10日(日)9:20 作業棟前集労作ボランティア合・健康チェックカード提出 9:35 ～3つに  
班分け(A・B・C)安全管理者の配置・紹介 9:50～身支度(貴重品は作業棟和室に入れ施  
錠) 10:05～A細流B水田・ヨシ原C溜池 10:35～A水田・ヨシ原B溜池C細流 11:05～A  
溜池B細流C水田・ヨシ原 11:35～集合写真 11:55～A→B→Cの順に解説その裏で後片付  
け 12:15～～まとめ・次回の予告・解散 12:20

○労作ボランティア 7月23日 13:00～15:00

ヨシ湿地の掘り下げ・泥上げ (ヤマアカガエルの越冬・産卵がしやすいように)

第5回「トンボについて」8月21日(日)予備日27日(土)、8月20日(土)Zoomによる解説

Zoomによる解説 7月31日(土) 第1部 19:00~40 ログイン準備「トンボについて」第2部  
19:45~20:25「三角紙の作り方・使い方」「トンボ標本の作り方・保存の仕方」・班分け  
8月21日(日)9:30 作業棟前集合受付・検温・チェックカード回収 9:40 ~3つに班分け(A・  
B・C)安全管理者の配置・紹介 9:50~採集A細流・ヨシ原B水田C溜池 10:15~採集A水  
田・ヨシ原B溜池C細流 10:40~採集A溜池B細流C水田・ヨシ原 11:05~馬込池へ移動  
11:20~採集A池B・C池周辺 11:20~採集B池A・C池周辺 11:35~採集C池A・B池周辺  
11:50~作業棟へ移動 12:00~集合写真 12:10~まとめ・次回の予告・解散 12:15

採集したトンボは持ち帰り自宅でトンボ標本を作る

※名前のわからないトンボは残ってもらい個別に教える

※コロナ禍が収まり管理棟が使えるようになった場合 弁当持ち

13:00~15:00 トンボ標本づくり実習

第6回「河川調査について」9月23日(金・祝日) 予備日 25日(日)、Zoomによる解説 22日(木)

Zoomによる解説 9月22日(木) 19:00~40 ログイン準備「河川調査について」

9月23日(金)9:20 作業棟前集合 受付・検温・チェックリスト回収・保険料集金 9:40~貴重  
品は作業棟和室に置き施錠・身支度 9:50~荻野川へ降りる 10:20~いろいろな環境の生き物を  
採集 11:35~集合写真 11:45~採集生物の説明 11:55~移動・片付け 12:20~まとめ・次回の  
予告・解散 12:25

※公園外なので、レク保険(1人50円)を掛け、出欠も早めにします。

※実施日が晴れていても前日雨が降って増水した場合は延期します。

○労作ボランティア 9月17日(土) 13:00~15:00 (自由参加)

ビオトープ化したヨシ原湿地の生き物調査をし来年の9月の調査と比較します。

第7回「外来生物について」10月2日(日) 予備日 8日(土)、1日(土)Zoomによる解説

Zoomによる解説 10月1日(土)第1部 19:00~40 ログイン準備「外来種について」

第2部 19:45~20:10「イナゴ料理について」・質疑応答・班分け

10月2日 9:20 管理棟前集合受付・検温・チェックカード回収 9:35~ 3つに班分け(A・  
B・C)安全管理者の配置・紹介 9:50~10:20 A・B・C地点に分かれてセイタカアワダチソ  
ウの引き抜き 10:05~ヨシ原・水田・休耕田で~イナゴ捕り 10:20~作業棟へ移動・身支度・水  
分補給 10:30~ウシガエル駆除A細流B水田C溜池 10:55~駆除A水田B溜池C細流 11:20  
~採集A溜池B細流C水田 11:45~集合写真 11:55~使用した道具類を洗い保管 12:15~ま  
とめ・次回の予告・解散 12:20

(この時イナゴがいるので、イナゴ捕りをします。捕れたイナゴはこの場では調理できないので、イナゴを持ち帰ってもらい各家庭でイナゴの佃煮を作って賞味してもらいます。完全無農薬・無除草剤などの化学物質の流入のない環境で育ったので、安全です。)

第8回「水生コウチュウについて」・七沢遠足 10月16日(日)予備日22日(土)、Zoomによる解説  
15日(土)

Zoomによる解説 10月16日(日)19:00~40 ログイン準備「水生コウチュウについて」

10月22日(日)9:20 広沢寺温泉駐車場集合~受付・検温・チェックカード回収・保険料集金・  
トイレを済ませる 9:40~大きな荷物は諏訪部車に積み込み身軽なかつこで休耕田まで徒歩移動  
10:10~荷物を下ろし、家族ごとの間隔を取って敷物を敷き、身支度、水分補給など休憩~  
10:30~支援者紹介、里山ネット・あつぎ あいさつ 10:40~ 採集 A 休耕田 B 休耕田周辺の  
草地 C 水田作業 11:15~A 休耕田周辺の草地 B 水田作業 C 休耕田 11:50~A 水田作業 B 休耕田 C  
休耕田周辺の草地 12:25~採集生物の解説 12:40~お弁当 13:10~ 大きな荷物を諏訪部車に載  
せ、自由時間 13:30~集合写真 13:40~広沢寺温泉駐車場まで徒歩移動 13:55~まとめ・次回の  
予告解・解散 14:00

※この日は遠足の支度(お弁当・飲み物・敷物・お手拭き+いつもの着替え、水・陸の採集道具)をしてもらいます。公園外なのでレク保険(1人50円)を掛けますので、出欠を早めに取り  
ます。

※例年8月に行っていたが暑いため10月に移動した。稲刈りも終わっているため水田作業・日  
程は不明、NPOと相談して変更の可能性あり

○労作ボランティア 10月30日(日)9:30~15:00(自由参加)

秋のフェスタ水辺の生き物展に展示する生き物の捕獲 午前玉川 午後こどもの森公園

第9回「ホトケドジョウについて」11月13日(日)予備日19日(土)、12日(土)Zoomによる講義  
こどもの森クラブ所属ホトケドジョウ研究家の住倉氏に特別に調査実習をしていただきます。

Zoomによるオンライン講義 11月12日(土) 第1部 19:00~40 オンライン準備「ホトケドジ  
ョウについて」第2部 19:45~20:25 折衝予定・質疑応答・調査場所の割り振り

11月13日(日)9:20 管理棟前集合 受付・検温・チェックリスト回収 9:35~貴重品は作業棟  
和室に置き施設・身支度 10:00~細流をグループに分かれ一定の距離を採集調査 11:00~ホ  
トケドジョウの体重・体長を計測・集計 11:45~採集した場所へ放流・後片付け 12:05~まと  
め・次回の予告・解散 12:10

○労作ボランティア 11月3日(木・祝) 9:30~15:00 (自由参加)

秋のフェスタ水辺の生き物展の解説受付など

○労作ボランティア 11月19日(土) 13:00~15:00 (自由参加)

ため池のヨシの伐根・泥上げ(ため池の環境を保持するため)

第10回「冬の生き物の過ごし方」12月11日(日)予備日17日(日)、10日(土)Zoomによる解説

Zoomによる解説 12月10日(金)19:00~40 ログイン準備「冬場の生き物の過ごし方」・班分け

12月11日(日)9:30 作業棟前集合 受付・検温・チェックリスト回収 9:45~3つに班分け(A・B・C)安全管理者の配置・紹介 10:00~①・②・③地点に分かれていろいろな場所(陸上)を探索して過ごし方を観察(シャベルで草や倒木の下を掘る・ナタやドライバーなどで倒木を割る)20分ごとの場所をローテーションする 10:20・10:40・11:00 ~カブトムシ養殖場に落ち葉、回りに枯れ木を集めてすみか作り 11:30~道具の片付け 11:45~①, ②, ③の場所で見られた生物の解説 12:00~まとめ・次回の予告・解散 12:05

(生き物調査隊の作った堆肥場(養殖場)にカブトムシの幼虫がいたら、希望者は堆肥とともに各家庭に持ち帰り飼育観察をする。)

※水が冷たくなるので、今回から水の中はお休み!

第11回「落ち葉かき・カブトムシ増やし」2023年1月9日(祝・月) 予備日・Zoomなし

◎この回だけ自然PJ・農業PJの共同行事に参加させていただきます。

9:30 作業棟に集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45~春の七草について説明(七草がゆに入れるので) 9:55~小学生4年以上は弁天山の落ち葉かき、以下の親子は生き物調査隊の堆肥場への落ち葉かき・冒険の森の落ち葉かき 11:15①案;班ごとに七草粥をいただく 11:45~昼休み 12:00~弁天山の山頂付近で、冬越しする生き物を探す 13:00~見つけた生き物の解説 13:10~作業棟へ下山 13:25~まとめ・次回の予告・解散 13:30

※コロナ禍が収まっていない場合は②案お弁当を食べる 11:45~以下①案と同じ

第12回「トンボの幼虫を絵に描こう」2022年2月12日(日)雨天決行(管理棟内の活動)11日(土)Zoomによる解説

Zoomによる2月11日(土) 第1部 19:00~40 ログイン準備「トンボの幼虫・ヤゴについて」

第2部 19:45~20:25 隊員の飼育している生き物の紹介・報告会・質疑応答

2月12日(日)9:20 管理棟集合 受付・検温・チェックカード提出 9:35~あらかじめ集めておいたヤゴを配付して観察し、大きく絵にかいてみる(虫眼鏡、ファールなどを使って細かな

ところまでよく見る) 11:30~絵の発表 11:50~12:00 まとめ・次回の予告・解散

※色鉛筆など筆記用具を持参してもらいます。

描いたものは集め、PDF の作品集を作ります。

飼いたいヤゴがいたら持ち帰れますので、容器を用意してください。

※管理棟が使えず 3 蜜が防げない場合は、数種類のヤゴを配布するだけで、家で絵を描いてもらいます。配布順番時間帯は参加者が決定してから通知します。描いた絵はスキャナーで取り込んだ映像でもデジカメで撮影した映像でもよいので、メール添付で送ってもらいます。みんなの画集を作りますので、よろしくお願ひします。

飼育が困難な方は公園に来た際水田に放してやってください。

※飼ひ方など質問のある隊員は残り説明を聞く

○労作ボランティア 2月5日(日) 9:30~12:00

第12回水辺の生き物調査隊で使うヤゴを集める

第13回「ヤマアカガエルについて」2022年3月12日(日) 予備日18日(土)、3月11日(土)Zoomによる解説

Zoomによる解説 3月11日(土)19:00~19:40「ヤマアカガエルについて」・質疑応答・次回やりたいこと

3月12日(日)9:20 管理棟前集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45~ヤマアカガエル卵塊調査 10:00~管理棟で卵塊・幼生の観察・スケッチ(虫眼鏡、ファールなどを使って詳しく見る) 11:40~賞状授与 11:50~12:00 まとめ・解散

※色鉛筆など筆記用具を持参してもらいます

描いたものは集め、作品集を作ります。継続観察したい方は容器を持参ください。

※コロナ禍が収まらず管理等が使えない場合

3月12日(日)9:20 管理棟前に集合 受付・検温・チェックカード提出 9:45~田んぼでいろいろな成長段階の卵塊・オタマジャクシの観察 10:00~持参した入れ物に卵塊のほんの一部・オタマジャクシを配布する 10:20~順次解散

田んぼで卵塊を観察し、その一部を配付するだけで、家で絵を描いてもらいます。描いた絵はスキャナーで取り込んだ映像でもデジカメで撮影した映像でもよいので、メール添付で送ってもらいます。みんなの画集を作りますので、よろしくお願ひします。また、カエルになるまで観察し、記録を取ってみましょう。カエルはこどもの森公園に戻してもよいです、ず~と飼っ

てもよいです。

\*\*\*\*\*

※採集道具、ヒップウエーダーは貸与し家庭で管理してもらいます。サイズによっては不足することがあります。

※服装は長袖長ズボンで、長靴、タオル、もしもの場合の着替え

※公園内の生き物は原則持ち出し・持ち込みができませんので、予めご承知おきください。

ただし隊員は生息個体数が多く、影響の少ない生き物は体験のため家庭での飼育を認めます。

### 【期待する目標】

- ・ヤマビル対策やいろいろな生き物との接し方を体験させる
- ・田んぼ・畑耕作者・地域の人々に対するマナーを知る。

○家庭での生き物の親子での飼育体験により観察する芽を育てる

○環境により採集する生き物の違いから生物多様性を気付かせる

- ・水辺の植物にも関心を持ってもらう
- ・採集生物の管理棟での常設展示・飼育しを模索（ヤマアカガエルの卵・オタマジャクシ、アカハライモリの産卵、トンボの羽化、イトモ・ミズオオバコ・ウリカワの栽培、……）
- ・春と秋のフェスタの「水辺の生き物展」展示に協力してもらう
- ・親同士・こども同士のつながりを深める。
- ・将来の進路に「生き物」「自然・環境」が選択肢に加わるようになってほしい

## ●あつぎこどもの森クラブ 「水辺の生き物調査隊」

生き物離れ・自然離れしたこどもたちが増え、図鑑やネット・ゲーム画面で見ただけのものに……

2017年こどもたちと親御さんに中荻野の恵まれた自然の中に身をおいて、そこで生活している生き物に直接触れさせてあげたい・生き物とかかわる楽しさを味わわせたい・生き物大好き家族を作りたい、の想いで野や林の生き物ではなくあえて水辺の生き物に絞った「水辺の生き物調査隊」を結成し活動をしてきた。

幼少年期の好奇心旺盛な時期





に生き物や自然に触れることは、大人になってもその経験は財産として残る。何でも知りたいこの時期にまっすぐに自然の生業を見てもらい、記憶に残る経験を提供して、こどもたちが親になったときまた我が子に伝えることができるようになってもらいたいと願っている。こどもだけでなく親子ともども生き物とふれあい生き物大好き家族になってほしいと活動している。

5年目を迎え新しい隊員を迎えコロナがやや落ち着いた4月～7月はかろうじて開催することが出来たが、第5波が始まり緊急事態宣言が発出されたため8・9月は休まざるを得なかった。

10月以降も多く目の感染防止策を点検してもらい、当日管理棟内で説明していたことを前日の19:00～20:30にZoomを使ったオンライン解説をして、当日はマスク常着してもらい、一か所にまとまらないよう場所を分散させ6～7家族のグループを3つ作りローテーションで接触しないように場所替えをしながら活動した。それぞれの活動場所にスタッフを配置して社会的距離を保つように安全管理をしてもらった。

また、来園の際は公共交通機関を使わずマイカーを使用するよう徹底した。

ウエーダー・水網は当日貸していたが、使いまわしになるので次亜塩素酸水につけ消毒したものを自分専用になるよう貸与して家庭に持ち帰り管理してもらうようにした。

隊員もかなり経験を積み公園で行う秋のフェスタの水辺の生き物展の準備の生き物集めや当日のお客さんに対する説明もしてもらった。お客さんからも好評だった。

毎回の活動は薄氷を踏む思いだが、生き生きした子ども達の活動を見るにつけこちらも嬉しくなり、次回はどんなことをしかけてやろうかなどと思いを巡らせ可能な限り活動を続けたい。

まだ管理棟が使用できないので、室内での活動(トンボの標本づくり、オタマジャクシやヤゴの観察画作成など)ができないので、何とか工夫してコロナ時代を上手に付き合いながら「水辺の生き物調査隊」を継続していきたい。今年度は隊員20家族、キャンセル待ち隊員11家族で活動した。3月に2022年度若干組募集をしますので、興味ある方は諏訪部(tyakasan51223@yahoo.co.jp)まで連絡ください。

(隊長 諏訪部 晶)